あしたの資産価値を高める読本

TSUGITE つぎて

26

建てて終わりにしない、
お客さまと共に
成長し続ける。

TakaMatsu

つぎて

あしたの資産価値を高める読本

TSUGITE つぎて 26
令和8年10月31日発行
高松建設株式会社
〒532-0025 大阪市淀川区新北野1丁目2番3号
TSUGITE編集室

ご相談窓口

高松建設
〈ご意見、ご要望もお気軽に〉土地活用・不動産の売却や購入・マンション経営に関すること全て
受付時間／平日9:00〜17:30 0120-53-8101

専門的なご相談もお気軽に

高松テクノサービス
〈大規模修繕・メンテナンスのご相談〉建物の修繕・診断や外壁改修・リノベーション
受付時間／24時間365日対応 東京・名古屋・大阪／0120-976-527

高松エステート
〈マンション管理のご相談〉空室のお悩みや入居者様とのトラブル・設備点検のご相談
受付時間／10:00〜17:00 東京／03-3455-7101 名古屋・大阪／0120-18-5105
夜間・緊急時のご相談はこちら 東京／0800-500-3029 名古屋／052-253-6206 大阪／06-6308-5372

高松建設
東京本店 〒108-0014 東京都港区芝4丁目8番2号
大阪本店 〒532-0025 大阪府大阪市淀川区新北野1丁目2番3号
支店／千葉・埼玉・横浜・名古屋・京都・神戸・福岡 営業所／札幌・仙台・広島・高松

高松建設 検索
www.takamatsu-const.co.jp

東京本店長 × 大阪本店長 CROSS TALK

建てて終わりにしない、お客さまと共に成長し続ける。





対談を前に―高松建設グループの「これから」

このたび、高松建設グループとしてさらなる成長を目指し、よりお客さまのお役に立つために、グループの「これから」について、高松建設の東京・大阪のトップである両本店長が本音で語り合いました。「建てて終わりにしない」「お客さまと共に成長し続ける」―その決意と想いを、特集としてお届けします。

私たちは、建設に関わる幅広い事業を展開する高松グループ全22社の一員として、実績を重ねています。グループパーパス「つながりで響きあい、オンリーワンの価値を生み出す」のもと、建てて終わりではなく「何かあったときに、最初に思い出してもらえる存在になる」ことを目指し、お客さまとの日々の関わりを大切にしています。

近年、私たち高松建設グループ3社が提唱する「成長建築」は、未来を見据えた提案力と、それを実現する確かな技術力を掛け合わせ、「建物を、育む。」という長く柔らかな視点で、ハードとソフトの両面から建物の生涯価値を高めていく考え方です。建物は完成した瞬間がゴールではなく、そこから始まるお客さまとの長いお付き合いこそが、私たちの本当の役割だと考えています。

私たちは、お客さまに支えられて成長を続けてまいりました。現在では、賃貸マンションはもちろんオフィスビル、工場など幅広い建物を手掛けるとともに、不動産の売買、貸借などお客さまのニーズに合わせて事業領域を広げています。また、事業の広がりと同時に東西の連携も強化しています。東京・大阪それぞれが培ってきた営業力やノウハウを共有し、地域を越えたお客さまのニーズにもお応えできる体制づくりを進めています。これまで高松建設グループとお付き合いいただいている個人・法人のお客さまに、私たちの「これから」を改めて知っていただく機会になればと思います。

本店長対談に続く7~10ページでは、高松建設グループ3社が連携して取り組む、賃貸マンション、オフィスビル、工場、宿泊施設、医療施設など、多岐にわたるお客さまとのパートナーシップ事例をご案内しています。

これからも皆さまから必要とされる〝一番身近な建設グループ〟を目指し、お客さまの事業成長を支え、伴走し続けてまいります。

岡田 尚之（おかだ なおゆき）
高松建設 東京本店 本店長

PROFILE
1988年工事部入社。
1992年営業部へ異動し、京都・名古屋支店長、大阪本店長を経て、2026年4月より現職。
仕事上のモットーは〝結果にこだわる〟。

井川 孝次（いかわ こうじ）
高松建設 大阪本店 本店長

PROFILE
1985年工事部入社。
1998年営業部へ異動し、事業用建築の営業を開拓。京都・名古屋支店長を経て、2026年4月より現職。
仕事上のモットーは〝常にチャレンジ〟。

もっとお客さまに寄り添うために、スピード感や機動力が必要。



会社とお客さまに育てられ、受け継いできた「お役立ち」の精神。

岡田　私たちは二人とも工事部入社ですが、一番印象に残っているのは、会社の成長とともに自分自身も、会社やお客さまに育てていただいたことですね。

井川　私は工事部で阪神・淡路大震災の復興工事に携わった後、営業部へ異動しました。最初は現場に戻りたい気持ちもありましたが、企業の経営者や病院の理事長など、幅広いお客さまとの出会いに恵まれ、視野が大きく広がりました。いろいろな方とお知り合いになれたことは、本店長となった今、大きな財産になっています。

岡田　お客さまに育てられてきたという想いは同じですね。また、その中で培われた当社の営業スタイルには、他社にはない強みがあると感じています。

井川　お客さまのお困りごとやご要望について、他社より労力を惜しまずヒアリングし、それを生かしたご提案ができていることが強みだと思います。また、その文化がずっと続いていることですね。

岡田　私たちは昔から、お客さまへの「お役立ち」をモットーとし、それが成長の原動力になってきましたよね。個人のお客さま対応で培ったお役立ち精神が、法人のお客さまにも生きていると感じます。だからこそ潜在的な段階からお手伝いし、関係づくりができる。そこに強みがあると思います。建築用地のご紹介もまさにそうですね。C&Cカンパニー（※）としての姿勢が生きています。

井川　建物完成後も必要なタイミングでお手伝いできるよう、営業担当者が継続して窓口として寄り添います。修繕・改修や管理についてもグループで総合的にサポートできることも強みですね。

迅速かつ丁寧な対応、グループ間の連携、3社で共に課題解決に取り組む。

岡田　一方で、お客さまへの寄り添いは、まだ十分とは言えません。ご要望に素早く的確にお応えできる体制を、もっと磨いていく必要があります。社員も増えていますが、不具合対応やメンテナンスなど、お客さまからのご依頼も多くいただいています。組織として確実に対応できる体制を、さらに整えていきたいですね。

井川　それに加えて、グループ会社間の連携も現在強化しているところですよね。高松建設が築いたお客さまとの関係を、高松テクノサービスや高松エステートときちんと共有していくことが大切です。

岡田　それらの課題に向き合うため、お客さま満足を専門に担う部署を新設しました。担当者がお客さまを訪問し、建物のお困りごとから、「所有している土地を売却したい」といった将来のお悩みまで伺う体制をつくっています。訪問やアンケートを通じていただくお客さまの声に対し、グループ3社で一緒に解決していく姿勢で取り組んでいます。

建てて終わりにしない挑戦、「成長建築」を実践する。

井川　まさに「建てて終わりにしない」という姿勢ですよね。長期的なお付き合いにおいて、本当に大切なことに取り組んでいきたいと考えます。

岡田　建物も人と同じで、傷んだり、手当てが必要になったりします。外壁の塗り替えや配管の不具合、台風などの自然災害まで、その時々にきちんとお手伝いできることが、建てた後のお付き合いだと思います。さらに、当社が手掛けた建物だけでなく、お客さまが所有される他の建物についてもお手伝いできる会社・グループでありたいですね。

井川　建物完成までは3年ほどですが、使用される期間は50年、60年と続きます。むしろ建てた後のお付き合いのほうが圧倒的に長い。そこにきちんと対応できることこそ、私たちが目指すべき姿ですね。

岡田　そこで大切にしているのが「成長建築」という考え方ですね。工事費の高騰や物価上昇もある中、建て替えだけでなく、時代に合わせたご提案を重ね、建物の生涯価値を高めていく。そうしたお手伝いができる会社でありたいと思います。

井川　適切な手入れの有無で、建物の資産価値は大きく変わります。長期的な成長パートナーであるために、私たちも常に成長し続け、お客さまに最適なご提案ができる自分たちでありたいですね。

岡田　そうですね。それにはコミュニケーションが欠かせません。お客さまと積極的に接する機会をつくり、個人任せにせず、組織で対応できる体制を築いていきたいと思います。

グループ3社の連携、互いに「ありがとう」と思える関係づくり。

井川　個の力を組織全体の力にしていくためにも、

長期的なパートナーであるために、グループ3社の連携を加速。



（※）C&Cカンパニー：Consultant & Construct Companyの略。
お客さまの課題に寄り添う「提案力」と、それを形にする「技術力」を表す、高松建設の事業の核となる考え方

建ててからが本当のお付き合い。高松でよかったと言われたい。



高松建設グループ3社の連携も、東京と大阪の連携も、ますます重要になってきています。

岡田　3社が同じ価値観、同じベクトルで進むことが大切ですね。社員には、グループの仲間にも協力会社の皆さまにも「ありがとう」と思ってもらえる仕事をしようと伝えています。お互いに「ありがとう」と思える仕事のやり方や姿勢が広がれば、社員のやりがいも高まりますし、結果、お客さまの満足度も自然と高まっていくはずです。

井川　今では営業段階から高松建設と高松エステートが協働する機会も増えています。ビルや工場などの事業用建物も、管理からメンテナンスまでグループでしっかり対応できる体制づくりを加速していきたいですね。

東西連携こそが、さらなるお役立ちのカギとなる。

岡田　東西の連携という点では、事業用建物のノウハウは大阪が先行しています。そのノウハウや教育体制を東京と共有しながら、東京の市場もさらに広げていきたいですね。

井川　東西の連携を進める中で、大阪で経験を積んだ社員が東京で活躍する流れも生まれています。東京の企業が北海道や大阪で、大阪の企業が東京で拠点建築を検討される動きも増えています。土地情報含め、各エリアに根差した営業力を生かした東西の連携は、他社には真似のできない強みだと感じます。お客さまのニーズも高く、今後ますます必要になってくると思いますので、今回の対談が、さらなる東西連携の発展につながればと思います。

岡田　そうですね。井川さんと一緒に東西の連携を強化すれば、もっとお客さまのお役に立てますし、グループ3社の成長にもつながると思います。まずは私たちから東西の垣根を取り払い、地域特性に合わせながらも、東西連携の重要さを社員と共有していきたいと思います。

トップダウンからボトムアップへ。お客さま目線で動ける組織へ。

岡田　これからの成長に大切なのはトップダウンではなく、自ら考え判断できるボトムアップの組織づくりです。一人ひとりが役割と責任を理解し、全うできる組織にしていきたい。それが社員のモチベーション向上にもつながると考えています。

井川　現在は、お客さまアンケートで営業だけでなく、設計や工事の担当者への評価もいただくようになりました。やはり全部署がお客さま目線で考え、お客さま満足を高めていけるようになりたいですよね。

岡田　営業・設計・工事、それぞれがプロとして、お客さまのために何ができるかを考えられる組織にしていきたいですね。以前は賃貸マンション建築が中心でしたが、現在は工場や医療施設など、幅広い建物を手掛けています。それだけ専門知識も求められ、部署間の連携がさらに大切になっています。効率化にとどまらず、コンサルティング力と技術力を発揮できる体制づくりを進めていきたいと考えています。

「高松建設で建ててよかった」お客さまから感謝の言葉をいただける会社であり続けたい。

岡田　建築の幅に加え、不動産の売買・貸借へと事業フィールドは広がっていますが、お客さまへの「お役立ち」が仕事の根幹であることは変わっていません。「高松建設で建ててよかった」と思っていただける会社であり続けたいです。先日、30年前に賃貸マンションを建築いただいたお客さまにご挨拶に伺った際、「あの時、岡田さんが言った通りになったね、ありがとう」と言っていただきました。そんな言葉をいただけるお客さまを、これからも増やしていきたいと思います。

井川　私も30年近くお付き合いいただき、事業用建物を6棟ほどご依頼いただいたお客さまがいます。建物完成後、お客さま企業の業績が伸び、会社として成長されていく姿を見せていただけることは、何よりうれしいことです。個人・法人を問わず、お客さまの事業の成功に貢献できることが、本当にありがたいですね。

頼られる会社へ。お客さまの声を糧に成長していきたい。

岡田　まだまだ至らない部分もあります。実際、アンケートなどを通じてさまざまなお声を頂戴しています。現在は、経営陣がそれを直接受け止められる体制になっていますので、今後も皆さまのご意見を糧に、さらに成長していきたいと考えています。また、高松グループは全22社で、お客さまの多様なニーズにお応えできる組織となっております。ぜひ何なりとご相談いただければと思います。

井川　これからも本当の意味でお客さまのお役に立つために、東西の連携、そしてグループ会社の連携を図って、良い会社にしていきましょう。

岡田　ぜひ一緒に、お客さまに信頼され続ける高松グループをつくっていきましょう。

今を知る
建物設備最前線
革新とその歴史探訪

DAIKIN さんに聞きました

エアコン

AIR CONDITIONING INNOVATION

暑さをしのぐ道具から、空間を心地よくするインフラへ。

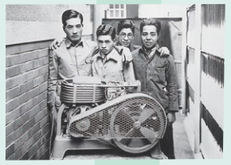
エアコンの進化。それは、室温だけでなく「暮らしの質」を変えてきた歴史です。暑さや寒さから人を守る設備は、空間のあり方そのものを変えていきました。温度・湿度・気流などをコントロールすることで、快適性に加え健康面まで考慮した空気の質を考える技術へ。エアコンの進化と暮らしの変化をひもときます。

1934

「冷房という新体験」
夏の過ごし方を変える

日本の夏に、新たな価値が

日本初の冷凍機の試作に成功。翌年には大阪・心斎橋の料亭に設置され、冷房された空間が話題に。夏の暑さをしのぎ、心地よく過ごすという、新しい暮らしの歴史が始まりました。



試作第1号機が完成

1936

ダイキンの冷凍・冷媒技術により、南海電車に日本初の冷房車両が誕生しました。

1951

「誰もが使える設備へ」
商業・文化施設から空調体験

ボタンひとつで、涼しさオン

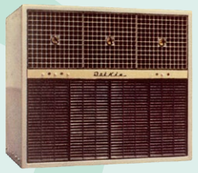
空調に必要な装置を一体化した、日本初のパッケージ型空調機が完成。ボタンひとつで運転できる手軽さから、劇場や飲食店へ普及しました。空調が特殊設備から、生活を支えるインフラへと変わり始めた転換点です。



1958

「快適な風が住まいの中に」
夏のライフスタイルに変化

ついに、家庭に涼しい風



国産初のロータリーコンプレッサーを搭載した、室内機と室外機が一体となった窓はめ込み型のウインドクーラーが誕生。従来よりも小型で静音性に優れ、賃貸住宅にも採用しやすかったことから、幅広い家庭に受け入れられていきました。

1964



高度経済成長期、クーラーは“新・三種の神器”のひとつ。涼しさは、豊かな暮らしの象徴だったんだよ！



エアコンの快適さを公共空間に

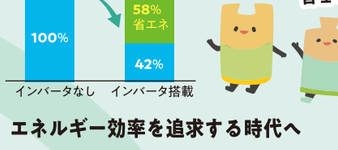
まだ駅構内や電車内に冷房が十分普及していなかった時代、国鉄大阪駅のホームで冷風サービスを開始。利用者から好評を博し、その後、全国の主要ターミナルへと展開されました。

1960年頃、冷房に加えて暖房機能も備えたエアコンが誕生しました。これをきっかけに、「エアコン」という呼び名が一般化していきました。

1969

「生活に合わせた対応」
快適性と省エネの両立へ

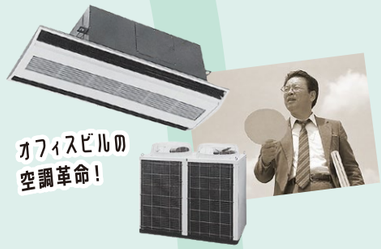
1982



一部屋だけでなく、住まい全体を快適に

窓設置型のウインドクーラーから、日本の住宅に適した室内機と室外機を分けたセパレート式の壁掛け形へと進化。住まいの空調の主流となっていきました。さらに複数の部屋を快適にしたいというニーズに応え、1973年には室外機1台で複数の部屋を空調できるマルチタイプのルームエアコンが誕生しました。

1984



全館一括空調から細やかな個別空調へ

日本初のビル用マルチエアコンを発売。建物全体を一律に空調する時代から、必要な場所を無駄なく快適にできる時代へ。働く人の心地よさと省エネを両立し、ビル空調の新しい常識を築きました。

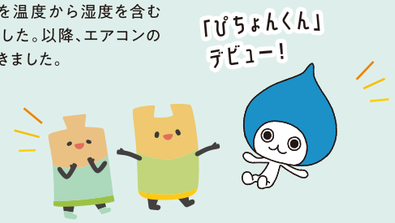
1999

「温度・湿度・清潔さも」
健康や安心に直結する設備へ

温度も湿度も、快適さの基準



世界初の無給水加湿技術を搭載したルームエアコン「うるるとさらら」が誕生。給水不要の加湿と、室温を下げにくい除湿を一台に備え、快適さの基準を温度から湿度を含む空気環境へと広げました。以降、エアコンの高機能化が進んでいきました。



2003

高まるオフィスビル空調の更新需要に対応

環境意識の高まりを背景に、既設配管を活用できる更新専用のビル用マルチエアコンが誕生。建物を大きく改修せずに空調を更新できるようになり、工期の短縮とコストの削減を実現しました。



2012
2013



快適さと環境性能を、様々な建物に



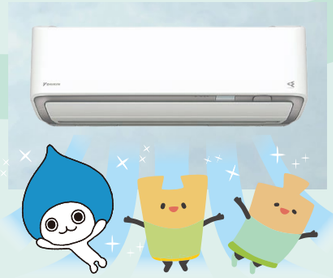
環境負荷の低減が、これからのエアコンの常識に

地球温暖化への影響を従来冷媒の約3分の1に抑える「R32」を、世界で初めてルームエアコンに採用。その後、店舗・オフィス用エアコンにも展開されました。快適な空気と環境負荷の低減を両立することは、建物空調に欠かせない性能となっていきました。

2019

空気をトータルに整える時代へ

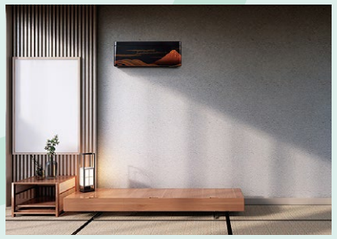
ルームエアコンは「うるさらX」へ進化。温度や湿度、気流、清潔性まで含めて、室内の空気をトータルに整える発想へ。エアコンは、快適で健康的な暮らしを支える生活インフラへと進化しています。

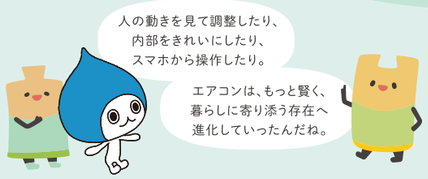


2025

エアコンは、空間を彩る名脇役

薄型デザインと多彩な質感（全57種類）を展開する「The Art Line」が誕生。伝統工芸やアートの要素をパネルに落とし込み、空間の個性を表現するインテリアへと昇華しました。デザイン性にこだわる現代の入居者の感性に響く空間づくりを可能にします。





世界中に、「新しい快適」を届け続ける

ダイキンは「空気」を事業の根幹に、世界中へ快適と安心を提供し続けることを使命としています。まだ誰も気づいていない「次の欲しい」を先取りしながら技術を磨き、新しい価値を生み出してきました。これからも、人と空間が健康で快適に過ごせる社会と、環境負荷の低減を高いレベルで両立し、持続可能な未来の実現に貢献していきます。

空気の可能性を引き出し
新たな価値を



ダイキンさんからのアドバイス

2027年4月から家庭用エアコンの省エネ基準が引き上げられます。
本体価格だけでなく、電気代を含めたトータルコストや、
快適性も含めて、今から計画的に検討しておくことをおすすめします。

高松テクノサービス・高松エステートでも、エアコンの修理・取替をサポート!

2027年を見据え、計画的なエアコン更新を!

「2027年問題」としてエアコン価格や動向に注目が集まっています。今後は本体価格だけでなく、電気代や必要な機能も含めた総合的な視点が不可欠です。賃貸マンションでは、突然の故障が入居者様の生活に影響するほか、複数台の取替が重なると、オーナー様の費用負担も大きくなります。設置年数や修理履歴を確認し、修理か取替かを見極めて計画的に対応することが、トラブル防止と安定経営につながります。退去時リフォームに合わせた取替から、複数台のおまとめ発注など、お気軽にご相談ください。

まずは、ここをチェック!

- ✓ 製造・設置から10年経過しているか
- ✓ 冷えにくい、暖まりにくい、異音などの不具合はないか
- ✓ 修理部品が確保できる機種か
- ✓ 過去に修理履歴があるか



肌で、空気の未来を体感
ダイキン ソリューションプラザ「フーハ」



エアコンの機能や心地よさを確かめられる体感型ショールームです。湿度による快適性の違いや、住宅・オフィス・工場を想定した空間展示のほか、専門スタッフへの相談も可能。デザイン性や最新の省エネ性能など、建物に求められる「空気の付加価値」を、ぜひ見て触れて実感してください。

ダイキン ソリューションプラザ
フーハ東京・フーハ大阪
見学 ▶ 予約なしOK
個別相談 ▶ 事前予約がおすすめ

高松グループ NEWS!!

まちと人の未来を支える、グループ各社の挑戦

グループの結束は、
さらに新たな価値へ

高松テクノサービス

大阪本社が、改修技術を体感できるショールームに

大阪本社ビルの共用階段に、大規模修繕工事を紹介する展示ブースを設けました。工事の流れや建物劣化の仕組み、外壁・内部改修の実績を動画や写真で分かりやすく紹介。外壁タイルの浮きを音で確認する打診や、下地塗装のローラー作業も体験できます。







執務フロア、レストルーム、共用階段・廊下も改修。ご希望に応じて館内をご案内し、改修技術や仕上がりを実際に見て、触れて、体感いただけるショールームとして活用しています。





高松エステート

オーナー様の未来を支える、学びの場「資産塾」を定期開催

高松エステートでは、お客さまの賃貸経営や資産承継に役立つ情報をお届けするセミナー「資産塾」を、東京・大阪で定期的に開催しています。具体的には、不動産市場や税・法改正、家族信託、最新設備など、時代の変化に合わせたテーマを取り上げ、各分野の専門家が分かりやすく解説します。





今後も、お客さま一人ひとりのお悩みに寄り添いながら、将来の賃貸経営や資産承継を考えるための、タイムリーで実践に生かせる有益な情報を提供し、安心できる資産運営をサポートしてまいります。





大昭工業

創業100周年。地域とともに、次の100年へ

大昭工業は、2026年10月21日に創業100周年を迎えました。1926年の創業以来、高槻市を中心とする北摂地域に根差し、総合建設会社として地域の街づくりに携わってきました。100周年スローガン「“出逢い”で未来を動かす」には、人や企業、地域との出逢いを力に、未来を築く思いを込めました。これまで支えてくださった皆さまへの感謝を未来へつなぐため、100周年プロジェクトを始動。高槻市内を走る4台のラッピングバスをはじめ、JR高槻駅や阪急高槻市駅でも記念広告を展開しています。これからも地域とともに歩み、次の100年に向けて新たな一歩を踏み出します。

特設サイト

“出逢い”で未来を動かす
～これからが、いちばん面白い～

◀ 全社員の声から生まれた100周年記念ロゴ



▲ JR高槻駅改札口の広告



▲ 市営バスのラッピング広告

高松建設



ちょっとヘン。でも、すごくまっすぐ。高松建設の実話から生まれた、5つのショートドラマ。

ポストに頭を下げる営業社員、打ち合わせ当日まで図面を描かない設計士、雑談まで書き留めるメモ魔の上司。新人営業社員の中松が出会うのは、一見すると少し変わった先輩たち。しかし、その行動の裏側には、お客さまや仕事に対する真摯な想いがありました。高松建設社員の実体験をもとに、ユーモアを交えて描いた全5話の縦型ショートドラマです。どうぞご覧ください。

制作背景

建物の性能や実績だけでは伝えきれない、社員の仕事への姿勢や、お客さまとの間に生まれた信頼。その高松建設らしさを、説明ではなく物語として届けたい。そんな想いから、スマートフォンで気軽に楽しめる縦型ショートドラマが生まれました。





創業当初あたりから社員を見守っているらしい建設の精霊。主人公の中松に、先輩たちの“謎行動”の隠された真意を伝えます。



新人営業社員の中松。個性豊かな先輩たちに戸惑いながらも、その行動に込められた想いを知り、成長していきます。

撮影秘話

休日の誰もいないオフィスで、全5話をわずか2日間、ほぼ始発から終電までかけて撮影しました。全話に出演した主人公・中松役の中島ももさんは、ハードな進行のなかでも終始笑顔で臨んでくださいました。さらに第5話のロケ先の工場は、偶然にも営業社員が以前から訪問していたお客さま。「半フィクション」の物語と現実のご縁が重なる、高松建設らしい出来事となりました。



広告広報室　澤田



原作は、高松建設社員が実際に経験した50のエピソードをまとめた『私たちが仕事で大切にしていること　心に残る感動エピソード50選』。今回のドラマも、この本に収録された実話をもとに生まれました。

編著：高松建設 感動事例集制作委員会　出版社：クロスメディア・パブリッシング
発売日：2023 年 7 月 18 日





第1話「ポストマン」
~縁（えにし）~
なぜ、手紙を入れたポストにまで頭を下げるのか。



第2話「図面が真っ白な男」
~リレーションシップ~
打ち合わせ当日になっても、図面が描かれていない理由。



第3話「辞められなくなった男」
~グッドカンパニー~
お客さまから告げられた、「君は一生、我が社の担当だから」。



第4話「メモりすぎる上司」
~CONSULTANT & CONSTRUCT~
雑談も家族の名前も、すべて記録する上司の真意とは。



第5話「私も、会社の顔」
~自己実現~
先輩たちの想いを受け継いだ中松が踏み出す、新たな一歩。

全5話公開中

まずは第1話「ポストマン」からご覧ください。

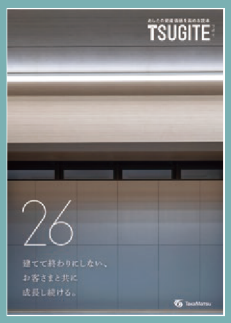


毎日、手書きの手紙を投函し、ポストにまで頭を下げる上司。その不思議な習慣に隠された理由とは。

第一話
「ポストマン」

建築のクローズアップ
Close-up on Architecture

今号の表紙を飾る写真は、高松建設が手掛けさせていただいた建物の意匠をクローズアップしたものです。
設計士が込めたこだわりやエピソードをお届けします。



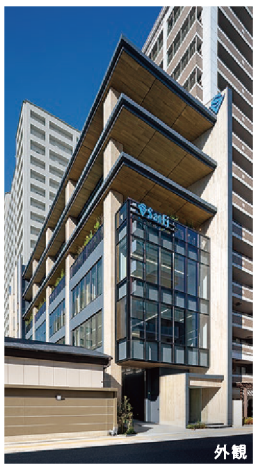
表紙の写真 | 三栄電気工業株式会社 様

大阪市北区
三栄電気工業株式会社 大阪支店
オフィスビル/技術研修室（電工道場）


技術研修室（電工道場）


執務室


食堂


外観


社員寮


テラス


アプローチ

水平に伸びる光と端正な壁面、足元に一本のベンチ。表紙は1階の技術研修室「電工道場」の一角です。ここは電気工事の技術を実践的に学び、先輩の仕事を見て、教わり、仲間同士で技術を伝え合う場所。高所作業車を用いた訓練にも対応できる天井高と空間を確保し、壁際には腰掛けて作業を見守ったり、会話を交わせるベンチを設けました。技術は一方向に教えるだけでは受け継がれません。働く人の所作を見て、何気ない会話から学ぶ。そんな技術継承のあり方までを、建築に組み込んでいます。

働きながら学ぶ。技術継承に寄り添う、現代の職住一体

目指したのは、三栄電気工業様に最適な「職住一体」です。1階に電工道場、2階に執務室、3階に会議室を配置し、学びと仕事の場を下層部に集約。4階には食堂・ラウンジ・テラスを設け、働く場と暮らす場の間に、社員が集い、気持ちを切り替える中間領域をつくりました。5・6階には社員寮を配置し、若手社員が生活を整え、共同生活を通じて協調性を育みます。時間帯に応じてセキュリティ範囲を切り替え、勤務時間外は建物の性格を「オフィス」から「住まい」へ。職場と住居の近さを人材育成の強みにしながら、生活が仕事に支配されない環境をつくり、技術継承と暮らしの豊かさを両立する、現代の職住一体をカタチにしました。



東京本店 設計本部
横田 梧朗

暮らしを支える、高松建設の関連会社

高松建設株式会社	賃貸マンション・ビル・工場・高齢者施設など、あらゆる建設工事の設計施工	【東京】〒108-0014 東京都港区芝4丁目8番2号 【大阪】〒532-0025 大阪市淀川区新北野1丁目2番3号	Tel:03-3455-8101 Tel:06-6307-8101
高松テクノサービス株式会社	大規模修繕、内部改修・リノベーション、建物メンテナンス・修繕	【東京】〒108-0014 東京都港区芝4丁目8番2号 【大阪】〒532-0025 大阪市淀川区新北野1丁目1番20号	Tel:03-3454-9080 Tel:06-6307-1111
高松エステート株式会社	不動産全般、ビル・マンション管理	【東京】〒108-0014 東京都港区芝4丁目8番2号 【大阪】〒532-0025 大阪市淀川区新北野1丁目2番13号 明治安田生命ビル8・9F	Tel:03-3455-7101 Tel:06-6308-5105
株式会社住之江工芸	ハイグレードの造付家具からインテリアリフォームの設計施工	【大阪】〒587-0042 大阪府堺市美原区木材通4丁目5番13号 【東京】〒104-0061 東京都中央区銀座7丁目12番7号	Tel:072-369-2668 Tel:03-6264-7148
株式会社金剛組	創業より1400年以上の歴史、匠の技を伝承する神社仏閣建築	【大阪】〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目14番29号 【東京】〒104-0061 東京都中央区銀座7丁目12番7号	Tel:06-6779-7731 Tel:03-6853-8190
株式会社中村社寺	創業より1000年以上の歴史、中部圏における神社仏閣建築	〒491-0866 愛知県一宮市城崎通7丁目4番地の3	Tel:0586-71-7821
タカマツビルド株式会社	首都圏における木造アパート、木造戸建住宅事業	〒140-0013 東京都品川区南大井6丁目26番2号 大森ベルポートB館5F	Tel:03-6271-6201
大昭工業株式会社	建築・土木設計施工、宅地の造成・分譲、土地建物の斡旋・不動産賃貸業	〒569-0805 大阪府高槻市上田辺町18番1号	Tel:072-682-6881
Takamatsu Philippine Corporation	フィリピンにおける不動産開発事業	CEO Suite LKG Tower 37th Floor, 6801 Ayala Avenue, Makati City 1226, Philippines	
日本オーナーズクレジット株式会社	建築工事に関わる金融事業	〒108-0014 東京都港区芝4丁目9番4号 芝浜ビル7F	Tel:03-5443-6500